

天の時、地の利を活かし 人の和で創る「健幸創造都市くさつ」

令和7年9月16日
滋賀県草津市長 橋川 渉

草津市について

1

●琵琶湖のほとり うるおいあふれる環境

草津市は滋賀県の南部に位置し、琵琶湖に面する南北約13.2km・東西約10.9kmとやや南北に広がった市域

- ▶人口 **141,017人** (R7.7末現在) (県下2位)
- ▶世帯数 **65,448世帯** (R7.7末現在)
- ▶面積 **67.82km²** (琵琶湖19.2km²含む)



●京阪神・大都市圏への便利なアクセス

J R草津駅から、京都駅まで約20分、大阪駅まで約50分

- ▶交通 JR草津駅 (乗降者数県下1位)、JR南草津駅 (乗降者数県下2位)
- 新名神高速道路草津田上IC



●水陸交通の要衝の歴史が作る街道文化のまち

古くから陸上、湖上の交通の要衝として発展

- ▶東海道と中山道とが分岐合流 (東海道52番目の宿場町)
- ▶湖上交通 (矢橋の帰帆) の要衝
(「急がばまわれ」の由来)



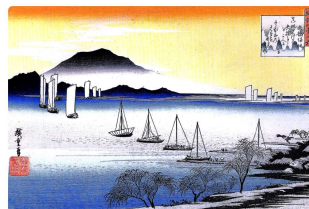
東海道

草津市草津三丁目地先

【追分道標】
右東海道いせみち
左中仙道みち



東海道五拾三次之内 草津
名物立場 (歌川広重)



近江八景 矢橋帰帆 (歌川広重)



草津市について

2

●多彩な魅力を感じられるまち

- ▶コンパクトな市域に、西部（みずべ・みどり）、中心部（まち）、東部（産業・学術）と異なる多彩な魅力が集積
- ・立命館大学びわこ・くさつキャンパス
- ・パナソニック、ダイキン、ニプロ、サンスター技研、住友精密工業etc.)

▶住みよさランキング

全国総合6位、滋賀県内1位（東洋経済 2025）



滋賀県立琵琶湖博物館



市立水生植物公園みずの森



イナズマロックフェス



道の駅草津



あおばなの栽培



近畿最大級のビニールハウス群
【草津メロン、愛菜菜（ワサビ菜）他】



史跡草津宿本陣



草津川跡地公園（区間5）



インフロニア草津アクアティクスセンター



YMITアリーナ（3,000人収容）



パナソニック株式会社
アプライアンス社 草津工場

【その他企業】

- ・ダイキン工業
- ・サンスター技研
- ・住友精密工業

他



立命館大学びわこ・くさつキャンパス

【びわこ文化公園都市】（大津市含む）

- ・滋賀医科大学（大学附属病院）
- ・龍谷大学瀬田キャンパス
- ・滋賀ダイハツアリーナ（5,000人収容）
- ・木下カンセー アイスアリーナ
- ・滋賀県立美術館
- ・滋賀県立図書館
- ・びわこ文化公園

他

天の時は地の利に如かず、地の利は人の和に如かず



「孟子－公孫丑（こうそんちゅう）・下」の孟子のことば。

城を攻める際に「いくら運勢が良くても、地形の有利さにはかなわない。地形の有利さも、人々の心が一つになっていることにはかなわない」ということば。

●この言葉を、地方行政に置き換えますと、

「天の時」とは、『災害や、人口減少・超高齢社会の進展等の大きな外的な要因』

「地の利」とは、『地理的な要因に加え、歴史・文化など、地域固有のポテンシャル』

「人の和」とは、『産官学民金など、多様な主体同士の「共創」による地域の総合力』

として捉えることができると考えています。

「天の時」に備え、「地の利」を磨き、「人の和」を持ってまちづくりにあたる。

「草津市」が進めております取り組みを、この視点から本日紹介させていただきたいと思います。

「第6次草津市総合計画」の将来ビジョン

(計画期間)
令和3年度～令和14年度

4

ひと・まち・ときをつなぐ
絆をつむぐ ふるさと 健幸創造都市 草津

ウェルビーイング

草津市は

誰もが生きがいをもち、

健やかで幸せに暮らすことのできるまちを
目指しています

平成28年8月 健幸都市宣言

平成29年3月 健幸都市基本計画



令和3年3月 第6次草津市総合計画
(基本構想・第1期基本計画)

令和5年3月 くさつ健幸ガイドブック

令和6年度 地域幸福度 (Well-Being) 指標導入

令和7年3月 第6次草津市総合計画
(第2期基本計画)



話題 1

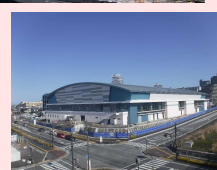
話題 2

☒ これまでの取り組み

これからの取り組み



【官民連携】草津まちづくり(株)
H25.11 都市再生推進法人指定（全国11番目）



【草津川跡地】 みどり軸

深化

草津駅周辺エリア未来ビジョン

➤草津線沿線市町との広域連携
まちづくり【中活を広域へ】

※草津駅を広域拠点駅とする
「広域立地適正化方針」の策定
⇒草津駅周辺の「都市再生緊急
整備地域」指定を目指す

~~広がり~~

【南草津駅】にぎわい拠点

【官民連携】UDCBK（法人化）
R7 法人設立 ➤ 都市再生推進法人へ

【山手幹線】ひがし環状軸 ※県事業（H21～R7）

【平野南笠線】 ひがし環状軸

【草津PA連携拠点】学術・広域連携拠点
バスタプロジェクト推進中
 (びわこ文化公園都市周辺)

話題 1

「人の和」で創る 魅力まちづくり

(官民連携・共創)

～草津川跡地から始まる、官民連携まちづくり～
(☒これまでの取組み)

天井川：草津川の廃川

7



昭和39年



平成7年



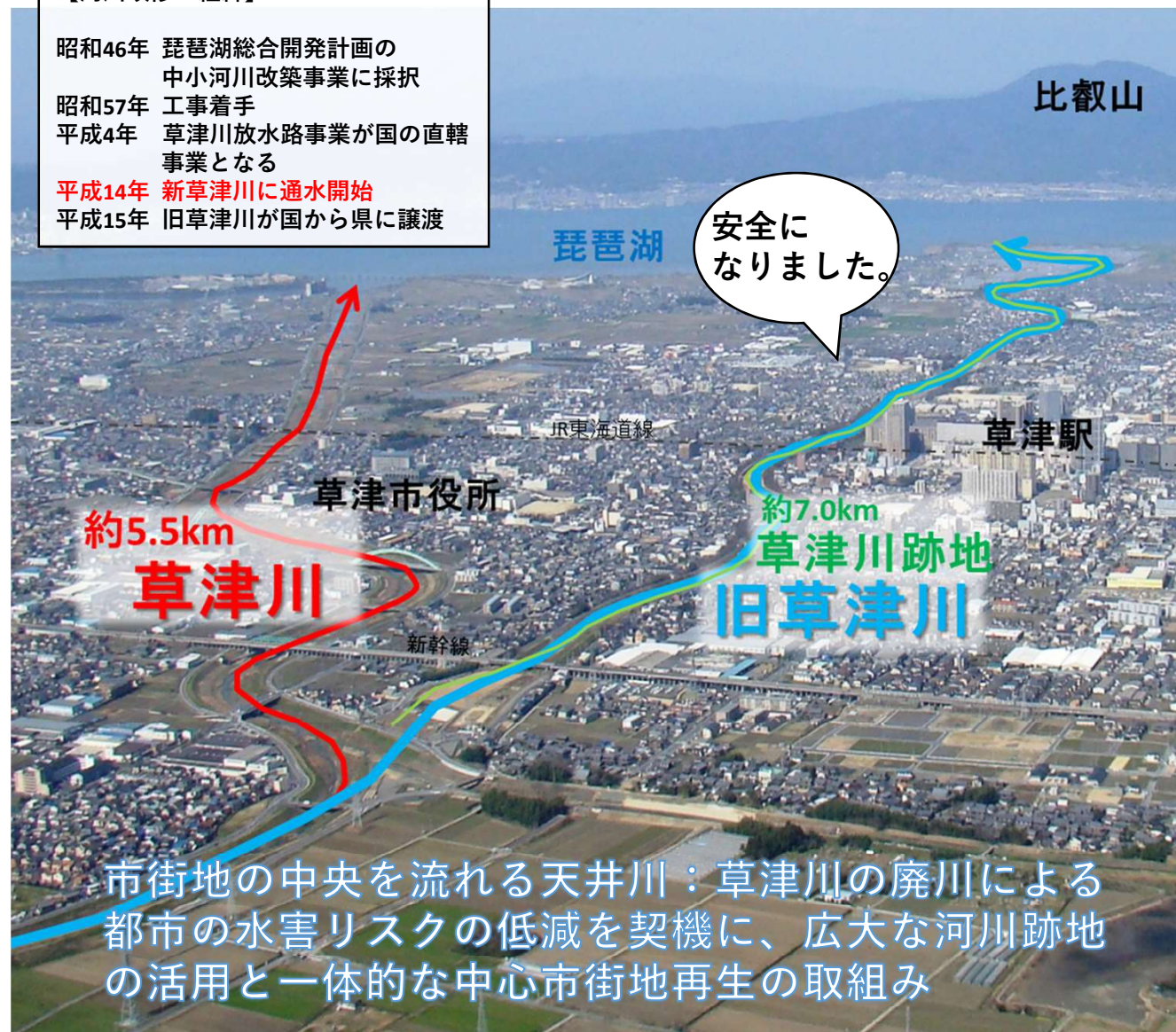
廃川となった草津川跡地

「どう空間活用するか」がカギとなる！

平成14年

【河川改修の経緯】

- 昭和46年 琵琶湖総合開発計画の
中小河川改築事業に採択
- 昭和57年 工事着手
- 平成4年 草津川放水路事業が国の直轄
事業となる
- 平成14年 新草津川に通水開始
- 平成15年 旧草津川が国から県に譲渡



老朽化した公共施設群と中心市街地の公的未利用地

8

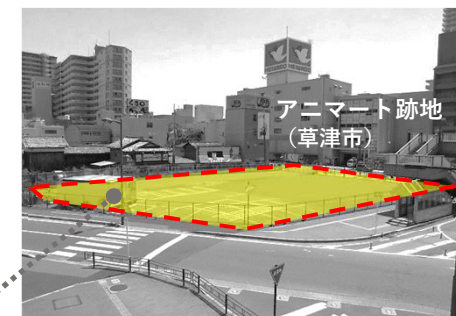
市民体育館



野村運動公園駐車場
(草津市・土地開発公社)



老朽
密集市街地



アニメイト跡地
(草津市)



西友跡地
(土地開発公社)



市営住宅跡地
人権センター跡地
(草津市)



まちづくりセンター
(公財) 草津市コミュニティ事業団



- ・草津合同ビル
(入居)
草津商工会議所
サンサンホール
医師会 他
- ・草津警察署
- ・草津第六保育所
- ・草津大路幼稚園

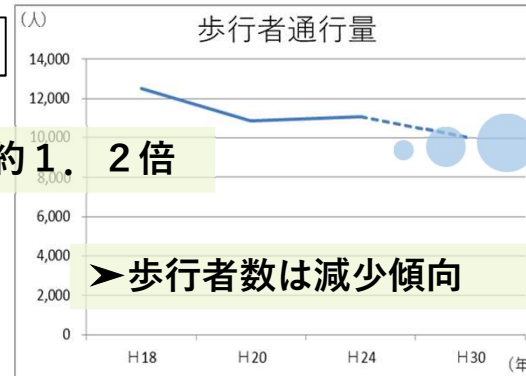
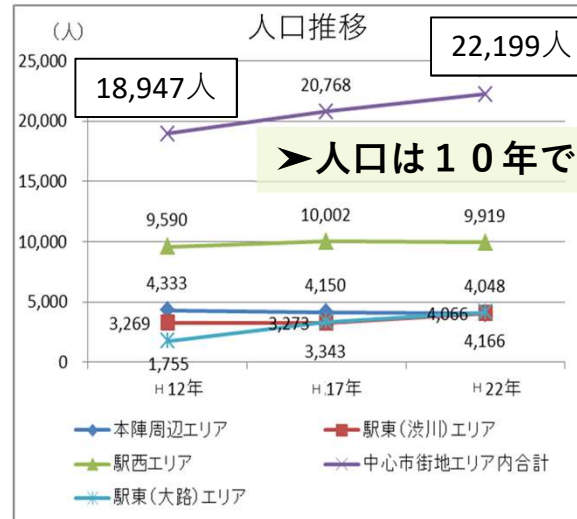


草津川跡地
(滋賀県)

衰退傾向を見せる中心市街地

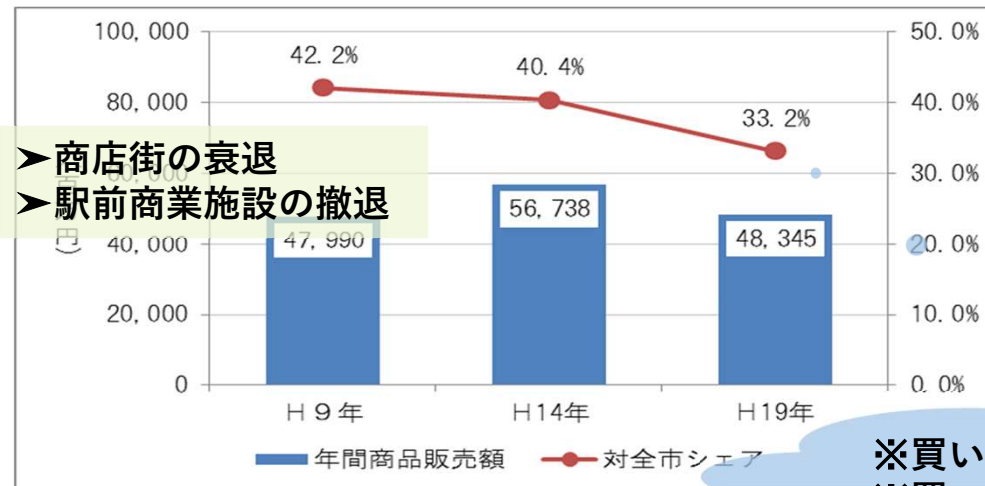
9

●増加する中心市街地人口に反して、減少する歩行者通行量



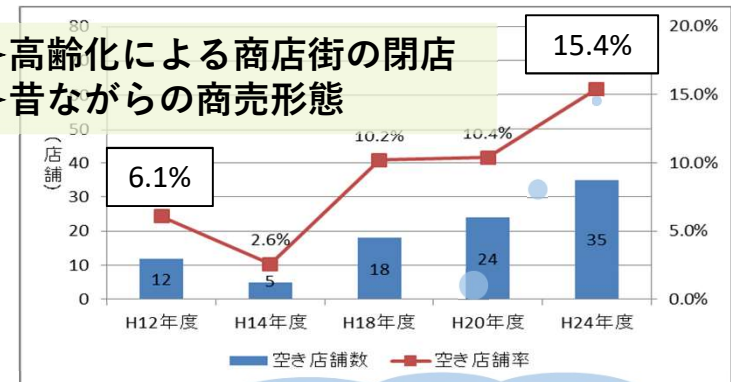
※増加するマンションで暮らす若い世代がまちを歩いている？
※まちが新しい住民の「共感」を得られていない？

●中心市街地の年間商品販売額、全市シェアが減少



●商店街の空き店舗率が上昇

➤高齢化による商店街の閉店
➤昔ながらの商売形態



※閉店後もオーナーが居住
新しいお店に代わらない？

※買い物は車で便利な郊外型店舗へ？
※買い回りは駅から近い京都・大阪へ？

草津まちづくり株式会社の設立

10

- 草津川跡地基本構想・基本計画において、エリアマネジメント会社として計画
- 草津商工会議所の有志によるNPO法人をベースに、第三セクターの株式会社として設立
- **株式配当は行わず、エリア価値（株主の資産価値）を上げることを配当**
- 市が筆頭株主、出資比率は26.6%、取締役2名を選出（副市長、都市計画部長）
- 都市再生特別措置法に基づく「都市再生推進法人」（全国11番目）に指定

旧中活法
TMO構想

草津商工会議所

H18.8 草津まちづくり委員会
H21.1 草津まちなか活性化プログラム
H21.7 草津まちづくりNPO
H24.8 草津まちなか魅力店舗誘致企画書

出資

出資

草津市

H23.5 草津川跡地整備基本構想
H24.3 まちなかステップアップ計画
(草津まちづくりNPOと作成)
H24.10 草津川跡地整備基本計画
H25.11 草津市中心市街地活性化基本計画

H25.2.26

公共空間の活用

草津まちづくり株式会社

公共空間の整備

- 資本金 : 3,760万円
- 発行株式 : 752株 (5万/株)
- 株主数 : 112名
- 出資比率 : 草津市 26.6%
商工会議所 8.0%
金融機関 11.2%
大型店舗 5.3%
市民、商店等48.9%
- 役員構成 : 13名
取締役11名、監査2名
- 都市再生推進法人 H25.12.27指定



【背景】

残された大規模な公的未利用地

老朽化した公共施設（非耐震）

若者に使われない市街地（商店街）

官民による共通の危機感

都市の魅力喪失

防災への不安

このままでは・・・

【目指す姿】

多世代の「共感」を得られる、魅力ある都市環境の創造

【官民連携】

草津市

官

民

まちづくり会社

未利用地を活用した

- ・草津川跡地の高質な公園整備
- ・老朽化した公共施設の再編

（公共施設総合管理計画）



公共空間・市街地に魅力を加える

- ・魅力店舗誘致・テナントミックス
- ・イベント開催・まちの担い手発掘

中心市街地活性化基本計画の策定・推進

第1期（平成25年12月～平成31年3月）

第2期（平成31年4月～令和7年3月）

中心市街地活性化協議会（官民連携によるエリアマネジメント組織）



朝ヨガ活動



ニワタスマルシェ



市民参加によるガーデンのお手入れ



冬のイルミネーション



フランス車の展示会

草津川跡地公園（区間5）

平成29年4月1日OPEN

13



【中心市街地活性化の基幹事業】
市民に愛された堤防の桜並木と天井川の地形を未来に受け継ぎ、新しい市民活動の舞台、愛される草津の新名所となるよう、計画段階から、供用後の運営に至るまで、行政、市民、民間企業が協議を重ね、持続的な運営の仕組みづくりを行っています。



夜間屋外での映画上映会



毎月2回開催：くさつファーマーズマーケット

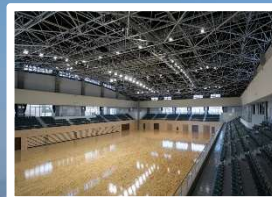


市民によるガーデンのお手入れ



毎週土日祝開催：ラジオ体操会（くさねっこ）





老朽化が進む市民体育館が、新たにプロスポーツや展示会、コンベンションにも対応できる「総合体育館」へと生まれ変わりました。

R3. 滋賀レイクスターズ フレンドシップタウン協定
R6 東レアローズ滋賀 パートナーシップ協定



東レアローズ滋賀

投票で上位の店舗
がイナズマロック
に出店できます。

滋賀レイクスターズ



イナズマフードグランプリ



滋賀国スポイイベント
(スポーツ吹き矢)

インフロニア草津アクアティクスセンター（草津市立プール）

令和6年8月1日OPEN

16



西日本初となる通年利用可能な
飛込プールです。
練習時に飛込の衝撃を和らげる
「バブルマシン」も備えています。



滋賀国スポリハ大会の様子
(水球)



くさつアクアフェスティバルの様子
(大橋悠依さんの水泳教室)



くさつアクアフェスティバルの様子
(飛込体験教室)



くさつアクアフェスティバルの様子
(乾友紀子さんのエキシビジョン)

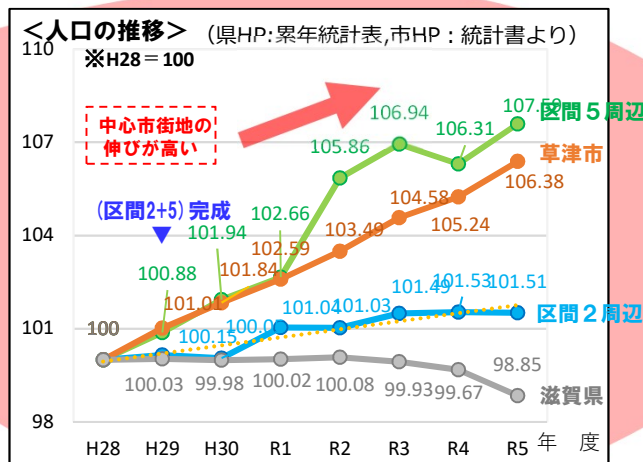


滋賀国スポリハ大会の様子
(競泳)

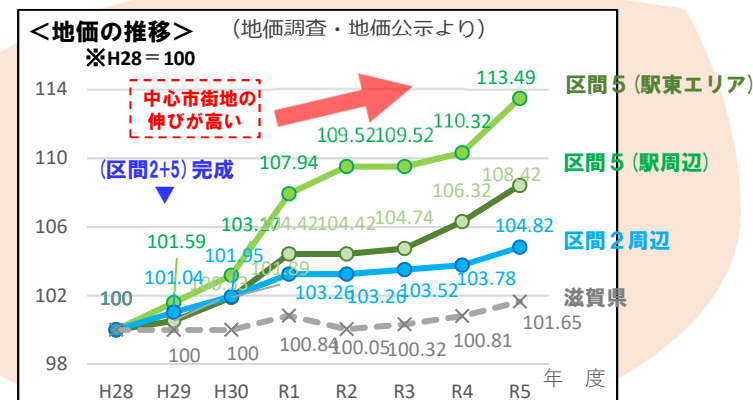
中心市街地活性化の効果

17

● 中心市街地の人口増加率が周辺地域を7年連続で上回る（H28-R5）



● 中心市街地の地価が10%を超える上昇



● 草津川跡地公園周辺の分譲マンション立地を牽引

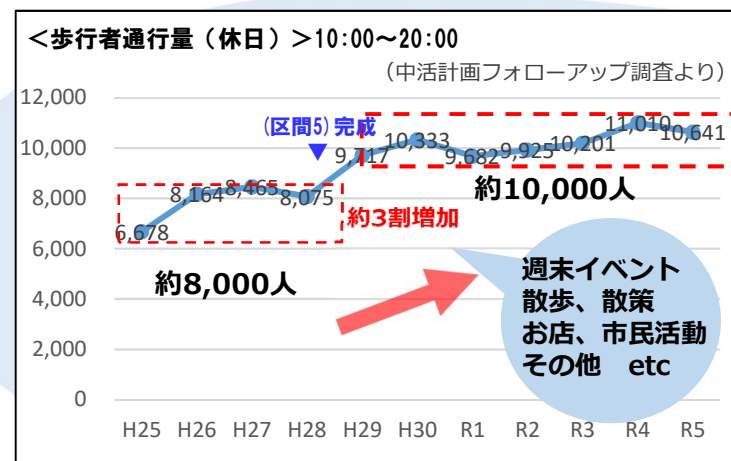
草津駅及び区間5 (de愛ひろば) 周辺に立地する分譲マンション



マンション販売広告に「区間5」を積極的にPR活用

分譲マンション案内 (HPより)

● 中心市街地の休日歩行者通行量が3割増加



週末イベント
散歩、散策
お店、市民活動
その他 etc

中心市街地活性化の効果

●**なによりも**、商工会議所、草津まちづくり株式会社と共に、官民連携の舞台として「**中心市街地活性化協議会**」を設立し、10年間に渡り、様々なプロジェクトを「協働」したことで、行政、民間の垣根を越え、志を一つにした“まちぐるみ”の『**人の和**』の**組織**へと成長できたこと。

●そして、**草津駅周辺エリア未来ビジョン**の策定を経て、「**くさつまちなかエリアプラットフォーム**」へと深化。より自由に、より楽しく、誰もが参加できる開かれた組織へ。くさつまちなかエリアプラットフォーム

マンションで暮らす人へ
まちなかで活躍する人や
お店の魅力を紹介



草津まち歩き新聞

草津市中心市街地活性化協議会

駅東、駅西の商業施設やホテルが連携
冬の草津駅前をイルミネーション彩る
豪華賞品のあるスタンプラリーも人気



草津まちイルミ

旧街道の“道路”を車中心から
“ひと中心”の空間へ



“ひと”と“やりたい”
が繋がる新しい
まちなかの出会いの場



デザイン会議



ガーデンストリートプロジェクト



CHEF'S LONG TABLE



話題 2

「天の時」を見据え、「地の利」を高める まちづくり
(リニア中央新幹線) (広域交通の要衝)

～ J R 草津線と新名神高速道路を活かす 広域連携都市づくり～
(□これからの取組み)

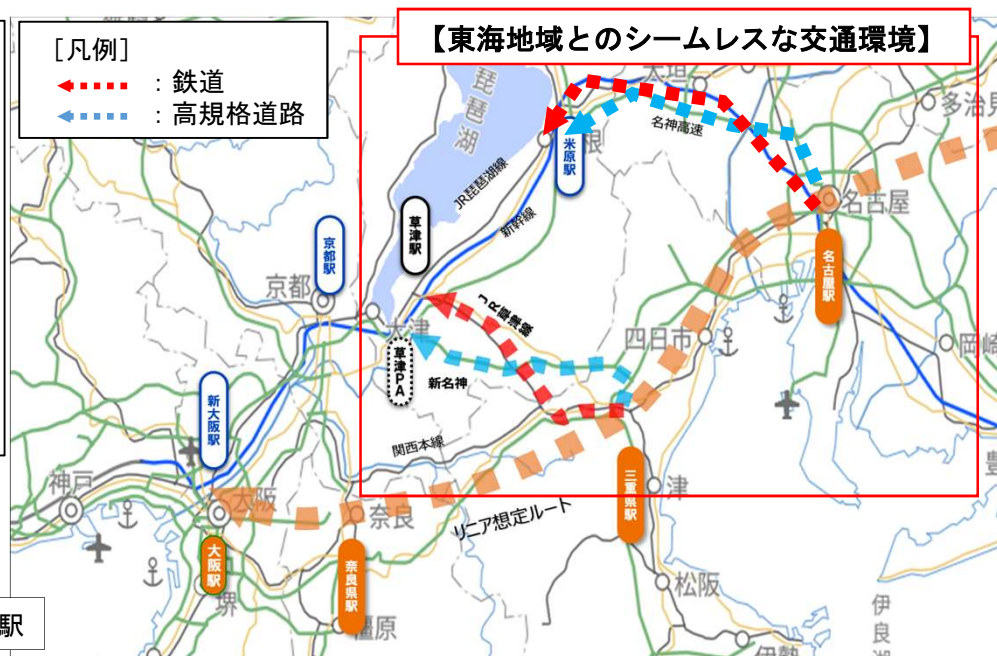
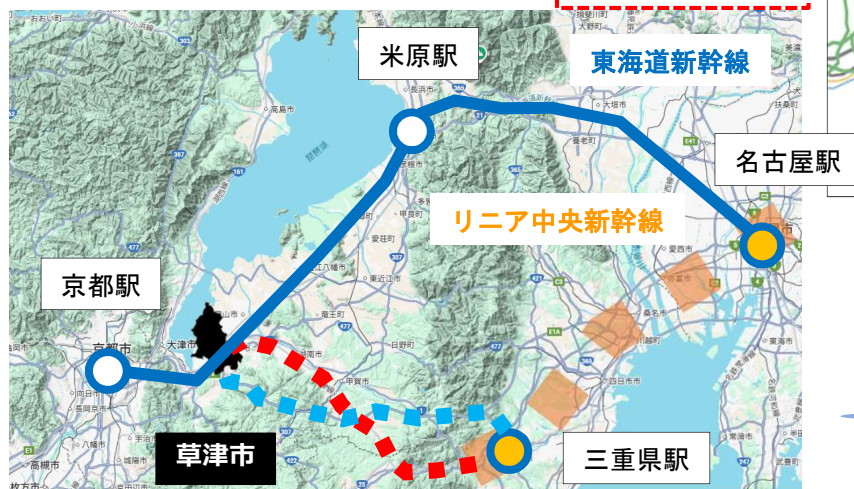
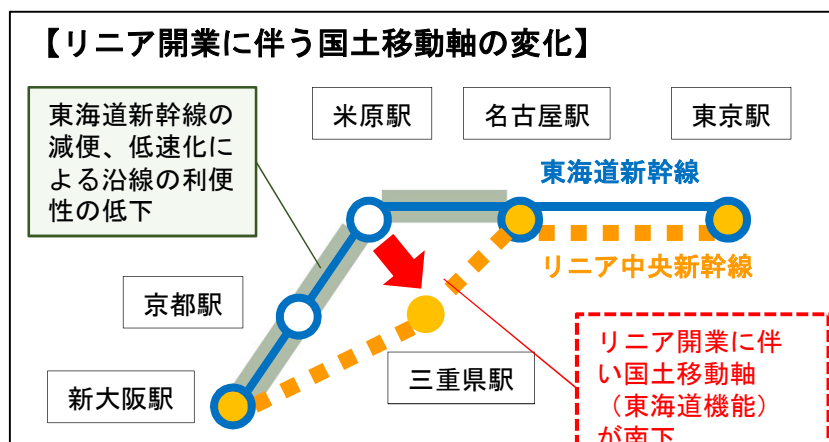
リニア中央新幹線がもたらす国土移動軸の変化への対応

20

- リニア中央新幹線は2034年以降の名古屋までの先行開業、2037年以降の全線開業が予定され、三重県亀山市内に中間駅が設置予定。
- 滋賀県はリニア中央新幹線の計画ルートから外れるため、全線開通後の東海道新幹線の減便・低速化などの影響を受ける。
- 首都圏とのアクセス性について、他県、他市との相対的低下により、企業立地や観光産業等の下振れの懸念。

●古くから旧街道の交通の要衝であった「草津市」にとって大きな交通環境の変化

●リニア周辺自治体との、交通利便性の相対的な低下により、企業や大学、観光などの空洞化への危機感



リニア開業による国土移動軸の変化に対応するため、東海地域とのシームレスな交通環境の構築により、「地の利」を高め、「次代の交通の要衝」を目指す。

J R草津駅を広域拠点とした草津線沿線まちづくり

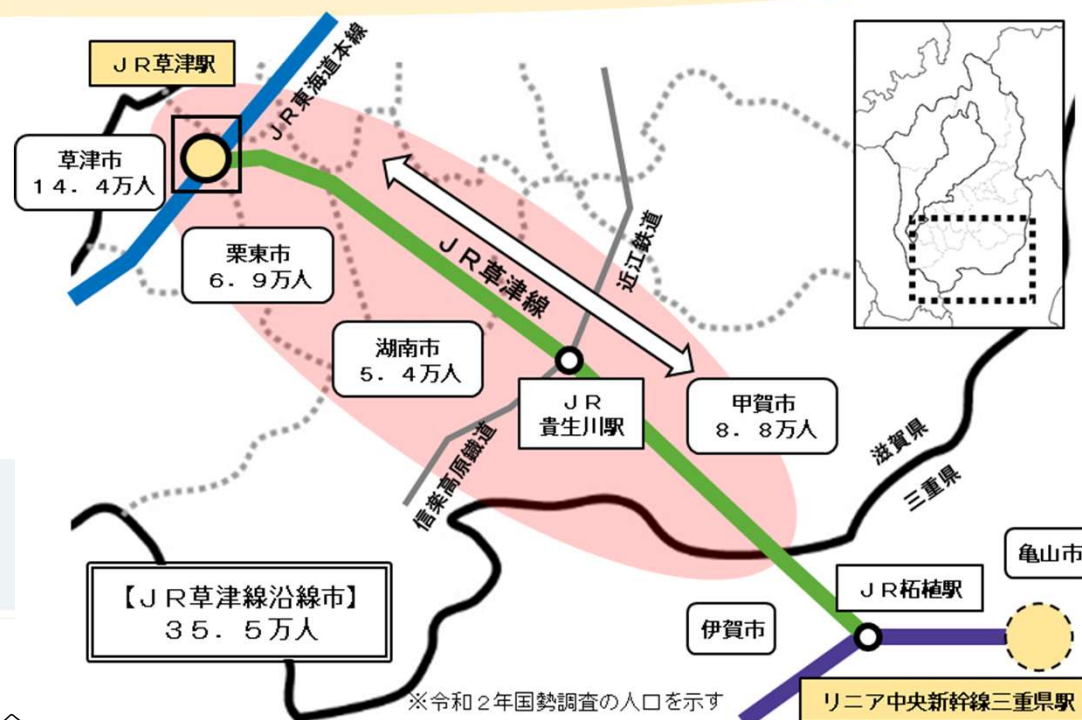
- 人口減少・超高齢社会の進行を見据え、草津駅周辺の役割に「**県南部地域を牽引する活力の源泉**」を掲げ、未来ビジョンを策定。
- J R草津駅は、湖南地域の広域交通拠点であり、大規模商業施設やシティホテル、スポーツ施設など、広域商圏の都市機能が集積。
- リニア三重県駅を意識しつつ、J R草津線沿線市が連携。草津駅が各駅の都市機能を補完する新しい**草津線『沿線都市圏』**を形成。

↓ **中心市街地活性化の先へ（広域への波及）**

- J R草津線の利用を促進し、沿線価値を高めることで、J R草津駅の価値の向上を目指す。
- J R草津線沿線自治体に広域連携を呼びかけ、「**広域立地適正化**」による沿線の全体最適を先導。

▶**将来のリニア三重県駅との接続を見据えつつ、先ずはJ R草津線沿線の活性化に着手。**

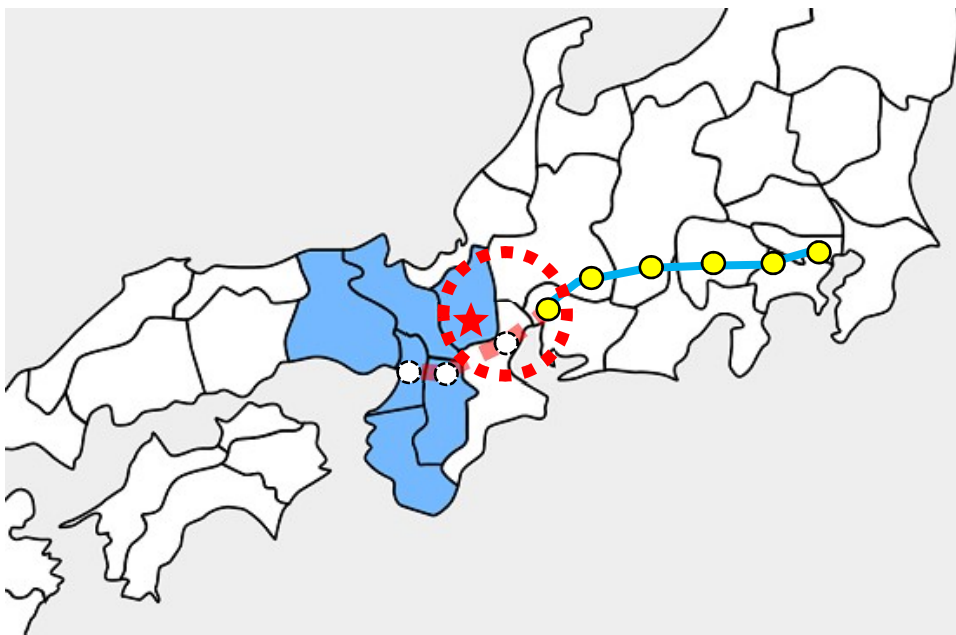
▶人口約36万人の暮らしを支える「広域拠点駅」として、『**都市再生緊急整備地域**』の指定を目指す。



中心市街地活性化基本計画 ▶ 未来ビジョン
草津市の中心拠点から、滋賀県南部地域の中心拠点へ

最後に・・・

- 滋賀県草津市は、関西東部に位置する、古来より旧街道が交わる交通の要衝であり、今も京都や大阪との近接性という「地の利」を背景として、中心市街地活性化まちづくりで培った「人の和」によって、都市の魅力や価値を高めてきました。
- リニア中央新幹線の開業は、本市にとっての「天の時」として、これまでの「地の利」の形に大きな変化をもたらす出来事と捉えています。
- この「**天の時**」を好機へと転換できるよう、新たな「**地の利**」を創る交通インフラの強化に取り組みつつ、官と民との連携による「**人の和**」によるまちづくりを加速化することで、多世代の「共感」が得られ、選ばれ続ける「健幸創造都市くさつ」を目指します。



南草津駅周辺への「人の和」の広がり



「草津市、立命館大学およびパナソニック株式会社とのウェルビーイング向上と地域の活性化に関する協定」を締結
(令和7年8月25日)

ご清聴ありがとうございました。